2025.1.24 現在

上級冷凍受験テキスト第 9 次改訂　正誤一覧

無印：1 刷り

●印：2 刷りの正誤（2023 年春以降の発売分につき、“2 刷り”の記載が無くても該当）

★印：最新内容（最下段が最新内容）

頁	該当箇所	誤			正		
(7)	量記号および単位一覧表（続き） 下から 6 行目	Δt	温度差	K	Δt，Δt_{m}	温度差，平均温度差	K
(7)	量記号および単位一覧表（続き） 下から 5 行目	Δt_{lm}	対数平均温度差	K	Δt_{mln}	対数平均温度差	K
(7)	量記号および単位一覧表（続き） 下から 4 行目	Δt_{m}	算術平均温度差， 平均温度差	K	Δt_{mAr}	算術平均温度差	K
11	右段 上から 8, 9 行目	ポリトロープ圧縮し，…			ポリトロープ圧縮$(1 < n < \kappa)$し，…		
16	左段 上から 2 行目	図 2.2 の受液器は…			図 2.2 の受液器（以下、高圧受液器ともいう）は…		
24	右段 図 2.14(a)	高圧受液器			受液器		
61	左段 上から 6~10 行目	また，600 番台は炭化水素（プロパン，イソブタンなど）のようなその他の有機化合物を表す．さらに，700 番台は二酸化炭素やアンモニアなどの無機化合物を表し，その下 2 桁は概略の分子量を示す．			また，ブタンやイソブタンは 600 番台の番号で表される．さらに，アンモニアや二酸化炭素などの無機化合物には 700 番台の番号が与えられ，その下 2 桁は分子量の概略値を示す．		
80	左段 上から 3 行目	Δt_{lm}			Δt_{m}		
80	左段 式(6.28)	Δt_{lm}			Δt_{m}		
80	左段 式(6.30)	Δt_{lm}			Δt_{mln}		
80	左段 下から 6 行目	Δt_{lm}			Δt_{mln}		

113	右段 上から 1 行目	大容量の受液器では，…	大容量の高圧受液器では，…
116	右段 図 9.10 (a)(b)(c) 3 箇所	（吸込み側：中間圧）	（吸込み側：中間圧力）
116	右段 図 9.10 (a)(b)(c) 3 箇所	（吐出し側：中間圧）	（吐出し側：中間圧力）
117	左段 下から 4 行目	…冷媒液と冷媒蒸気とを…	…冷媒液・冷凍機油と冷媒蒸気とを…
140	右段 下から 5 行目	これは蒸発圧力調整弁と…	これは直動式蒸発圧力調整弁と…
159	左段 下から 10 行目	…溜らない…	…溜まらない…
183	左段 下から 14 行目	…フランクケース内…	…クランクケース内…
190	左段 上から 15 行目	真空状態では…	真空試験では…
98 ●	右段 下から 12 行目	ルーパフィン	ルーバーフィン
128 ●	左段 上から 7~11 行目	過熱度は、過熱蒸気と同じ圧力における冷媒の飽和温度を用いて（過熱度）＝（過熱蒸気温度）―（飽和温度）と表せる． **※上記の内容は間違いではないが、よりわかりやすい表現として右記(正)に示す**	過熱度は、 [過熱度]＝[過熱蒸気温度]－[過熱蒸気と同じ圧力における(乾き)飽和蒸気温度]である。ただし、過熱蒸気と同じ圧力における(乾き)飽和蒸気温度は、その圧力における冷媒の飽和温度または蒸発温度に等しい.
72 ●	右段 上から 18～19 行目	フルオロカーボン系ブラインは	有機溶媒系のフルオロカーボン系ブラインは
56 ●	左段 下から 13 行目	フロオロカーボン	フルオロカーボン
242 ●	付表2 R407CのGWP	20年　100年　500年 2810　1325　421	20年　100年　500年 3605　1653　522
242 ●★	付表2 R507AのGWP	20年　100年　500年 2915　2199　815	20年　100年　500年 5700　3850　1350
23 ★	左段 下から 2 行目	q_p(kg)	q_p(kg/kg)

87 ★	図7.10 左右２箇所	円筒筒（シェル）	円筒胴（シェル）